

習志野市の今後の応急救護所について

【「今後の応急救護所」についての今回の検討事項】

現体制から、病院前救護所体制への将来的な変更の可否

【現在の応急救護所体制の課題】

1. 応急救護所から病院までの重傷者の搬送に時間を要す
2. 重傷者の初期治療は現応急救護所資材では限界がある（本来医療機関ではない避難所での開設）ため、モニター等で重傷者の管理ができず、その分人員がとられ、応急救護所本来のトリアージや軽症者治療を行うことが難しくなる
3. 医薬品循環が困難なため、医薬品のロスが多数生じる

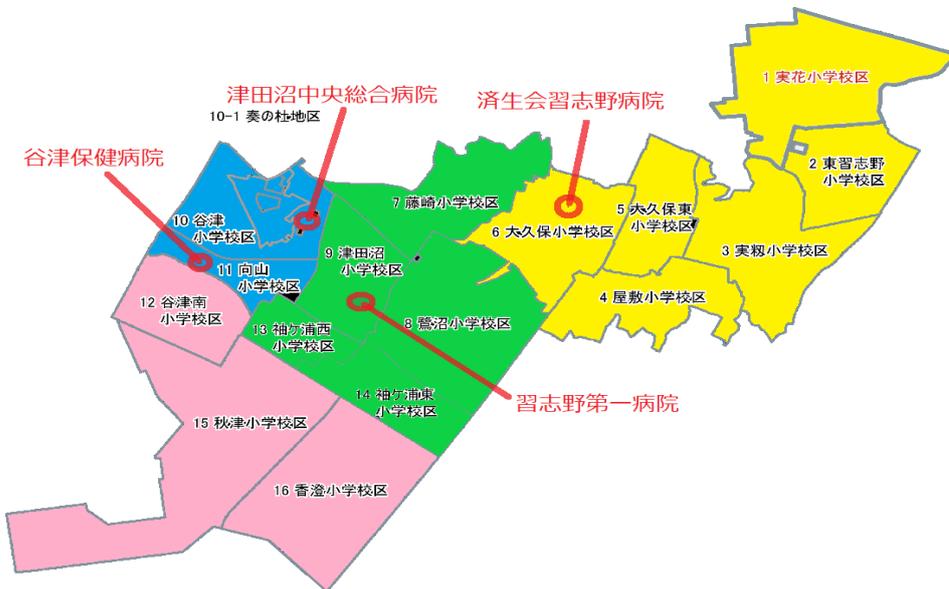
【今後の応急救護所体制の方向性について】

- ・ 上記現在の応急救護所体制の課題
 - ・ 市内災害拠点病院・救急告示病院より、病院前救護所設置の意向の確認（資料1-3）
 - ・ 病院前救護所のメリットデメリット（資料1-4）
- を踏まえ、病院前救護所を取り入れる形で今後の本市の災害医療体制を検討したい。

【今後の病院前救護所体制の検討案】

1案、市内4か所の災害拠点病院・市内救急告示病院の病院前救護所のための運営

- 病院前救護所のみであると設置場所に偏りが生じることが課題。☒
- ・ 地区によって応急救護所へ向かうことが難しい。
- ・ 一部の病院に傷病者が集中し負担が大きくなることが想定される…主に、東エリアにある済生会習志野病院



■想定される地域ごとの人的被害状況 ※習志野市地区別防災カルテより

※地震被害の想定地震は「千葉県北西部直下地震（M7.3）」

小学校区	人口	人的被害想定			※病院への割り振り地域は目安				
		死亡	負傷者（重症者含む）		総人口数	総死亡数	総負傷者数	内 建物倒壊等による 重傷者数	内 火災による重傷者数
①実花	9198	28	177	済生会習志野病院	71166	157	970	73	28
②東習志野	13596	4	51						
③実籾	9655	10	91						
④屋敷	11765	79	386						
⑤大久保東	9853	14	90						
⑥大久保	17099	22	175						
⑦藤崎	13439	6	65	習志野第一病院	52612	63	446	50	9
⑧鷺沼	14462	44	254						
⑨津田沼	12057	6	61						
⑬袖ヶ浦西	6369	2	20						
⑭袖ヶ浦東	6285	5	46						
⑩-1 奏の杜	8306	0	2						
⑩谷津	19258	2	35	津田沼中央 総合病院	34665	4	57	8	0
⑪向山	7101	2	20						
⑫谷津南	11997	1	10						
⑮秋津	6437	1	22	谷津保健病院	24929	3	53	8	0
⑯香澄	6495	1	21						
	183372	227	1526						

※習志野市防災アセスメント調査

(令和5年3月)

2案. 病院前救護所と公的施設内応急救護所の混合型の運営

：4病院と公的施設の一部（周囲に医療機関が乏しい・被害を受け孤立が想定される二中と七中等）の合計4か所以上の設置

- 混合型であると会場よっての格差（医療提供内容・搬送時間）が生じる。
- 会場よって、応急救護所役割や方法などが異なり、会場ごとの運営方法の整理が必要。
- 設置場所の検討（現応急救護所の内どの会場を残すか・別途会場を検討するか）
- 応急救護所会場により医療提供内容に格差が生じるため、市民理解に努める必要がある
- マンパワー不足により応急救護所の運営が困難が大きな課題

■マンパワーについて・想定される人員

- ・訓練時等の応急救護所人員…各応急救護所20名弱（三師会・アマチュア無線・市職員）
 - ・有事の際、参集は6割程度…各応急救護所12名
 - ・4病院+2中・7中を設置した場合…各応急救護所8名
- ※2中・7中の場合、4病院以上に重傷者対応等で人員を要する

☑実際の訓練では16~19名程度

3案. 市内4か所の病院前救護所設置、状況に応じサテライトとして公的施設内応急救護所設置による運営

：市内4か所の病院前救護所を設置を基本とする。

病院前救護所の状況（被災・傷病者の来所状況等）に応じて、災害医療本部の指示により、サテライト（補助的な役割）として、公的施設内応急救護所を設置。

■サテライトとして公的施設内応急救護所の設置が想定される場面として、

- ①応急救護所を設置する予定の病院が被災し機能が損なわれ、病院の運営が困難と判断される
- ②傷病者が殺到若しくは多数であり、その病院前救護所のみでの対応が困難。

■サテライトとして公的施設内応急救護所の設置場所（例）

谷津保健病院のサテライト…七中 津田沼中央総合病院のサテライト…一中 習志野第一病院のサテライト…保健会館
済生会習志野病院…二中

→サテライト設置場所は、現在使用している応急救護所場所が妥当なのか。サテライトならばより病院前救護所に近い場所への設置がよいか。設置場所については改めて検討が必要。

→病院前救護所とサテライトでは医療提供内容に格差が生じるため、市民理解に努める必要がある

→サテライト設置が想定される①の場面の場合は病院前救護所人員がスライドしサテライト人員となるため、マンパワーは変わらず。一方、②の場面の場合、現状に加えより多くのマンパワーが必要となるため、外部人員（医療ボランティア等）をあてることとなる。

